

特別記事

- 日本データセンター協会 15 周年記念イベント -

Data Center Japan 2025

データセンター・ジャパン



<https://f2ff.jp/event/dcjapan>

データセンター業界におけるステークホルダーが一堂に会し 業界の課題と解決に向き合うイベント

主催者のコメント

昨今の社会全体的なデジタルトランスフォーメーションのトレンドやAIの急激な普及もあり、データセンターの役割も重要度を増しております。一方でデータセンターのエネルギー消費電力問題も益々深刻になりつつあります。

この度、日本データセンター協会が15周年を迎えるに際しまして、データセンター業界におけるステークホルダーの皆様が一堂に会するイベントを開催し、業界を取り巻く課題解決について向き合い、ビジネス的な交流を活性化することによって、今後の本業界の発展に寄与していきたいと考えております。（以下主催者WEB サイト掲載内容原文のまま）

会期：2025年3月18日(火)～19日(水)

会場：東京都立産業貿易センター浜松町館
(東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝)

主催：特定非営利活動法人日本データセンター協会 共催：株式会社ナノオプト・メディア

後援団体：デジタル庁／総務省／経済産業省／東京都／独立行政法人情報処理推進機構(IPA)／国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)／(一財)インターネット協会／(一社)建築設備技術者

協会／(一社)ソフトウェア協会／(一社)JPCERT コーディネーションセンター／(一社)情報サービス産業協会／(一社)電気通信事業者協会／(一社)電子情報技術産業協会／(一社)日本インターネットプロバイダー協会／(一社)日本建築士事務所協会連合会／(一社)日本設備設計事務所協会連合会／(一社)日本クラウド産業協会／(一社)日本クラウドセキュリティアライアンス／(一社)日本経済団体連合会／(一社)日本シーサート協議会／(一社)日本情報システム・ユーザー協会／(一財)全国地域情報化推



会場：東京都立産業貿易センター浜松町館
(写真=ホームページより)

進協会／(特非)日本ネットワークセキュリティ協会／JADOG (Japan Datacenter Operators' Group)／データセンタークロスアライアンス／北海道ニユートピアデータセンター研究会

開催セミナー (3月18・19日の午前中開催分を掲載)

① 国を支え、国を創るデータセンター業界と私たちの使命



(特非)日本データセンター協会 理事長
さくらインターネット
(株) 代表取締役社長
田中 邦裕氏

デジタル社会を支える中核的な基盤としてデータセンターがますます重要な産業となるなか、日本においてもAIの進展とGXの実現の中で、データセンターに対する注目度は非常に上がっています。

しかしながら、電力の大量消費によるエネルギーの問題や、立地環境に対する地元との共生、また国境を超えた投資家の増加による経済安全保障の観点など、解決すべき課題も多く見られます。
本講演では、グローバルなデータセンター動向や、日本における課題とビジネスチャンスに対して、地域間のデータセンター分散化に向けた取り組みや外資との関係、寡占化が進むデータセンター市場の課題、そしてAI時代におけるデータセンターの役割と責任について考察します。
公益性やサステナビリティへの対応を含め、業界としての使命と持続可能な社会の実現に向けた取り組みを探り、未来を切り拓くための方向性を示します。

② AIに関わる経済産業省の取組



経済産業省
商務情報政策局 情報産業課 情報処理基盤産業室長
渡辺 琢也氏

社会・産業のデジタル化により、あらゆる分野でデータを活用した社会課題の解決が期待される中で、データを収集・伝達・処理する役割を担うデータセンターの重要性が高まっている。加えて、生成AIの登場等により、AIの学習等に必要となる計算能力が加速度的に増加している。そのような中で、



賑わっていた開催期間中のセミナー会場

経済産業省としては、計算資源の高度化や更なる量的拡大を、エネルギー・GX政策と連動させる形で進め、AIの開発力・供給力の強化に取り組んでおり、今回はその取り組み状況をご紹介します。

③データセンター等のデジタルインフラ整備に関する総務省の取組み



総務省
総合通信基盤局
電気通信事業部
データ通信課
課長 恩賀 一氏

④半導体市場の成長牽引は、これまでも・これからも AI 需要



UBS 証券 (株)
株式調査部
共同本部長
Managing Director
安井 健二氏

Open AI 社によるChatGPTの登場で、AI需要への注目が株式市場で一気に集まりました。実は2016年頃から既に、半導体市場の成長の大半はハイパースケーラーのサーバー需要拡大により実現されていました。今後、この流れは加速する方向性があり、半導体市場の高成長は続くと、UBS証券のグローバルテックチームでは予想しております。この分析内容と成長ストーリーを、セミナーで詳説致します。

⑤デジタル田園都市国家構想へのデータセンター業界の責任



東京大学大学院 情報理工学系研究科
教授
江崎 浩氏

「生成AI」によって、デジタル産業は急拡大することになり、日本の「エネルギー基本計画」をも大きく変更させるに至った。AIに代表されるデジタル社会の基盤となる半導体産業およびデータセンターに代表されるデジタルインフラ産業は、今後の社会・産業における効率化だけではなく構造変革と進化に必須の産業であり、エネルギーインフラの増強と通信インフラとの戦略的な連携整備が必須となる。生成AIに代表される先進的デジタル技術は、既存(AS IS)システムの効率化を加速させるだけではなく、デジタル・ネイティブの新しい(TOBE)システムを創成させ、デジタル田園都市国家構想の実現を先導しなければならない。

⑥ AI 時代のデータセンター



北陸先端科学技術大学院大学
遠隔教育研究イノベーションセンター
准教授
宇多 仁氏

生成AIをはじめとするAIの普及・発展は、膨大な計算力を要求し、データセンター

需要を大幅に引き上げている。その一方で、AI向けシステムではGPUなどのアクセラレータが大量に使われ、電力供給・冷却能力といったデータセンターファシリティへの要求は既存システムにおけるものとは桁違いとなっている。今や、構築するシステムの要求要件に合わせて一点ものとして整備されるスーパーコンピュータセンターのそれに匹敵するほどとも言えよう。

このような変化は、これまである程度統一化されてきた汎用データセンターの設計やスペックについて、根本から覆す程のインパクトを持つ。

本セッションでは、AI向けデータセンターに求められる要件やそれを実現する水冷といった技術、そして、今後に向けて押さえておくべき技術など、技術的側面を中心に解説する。

⑦データセンタービジネス市場の現状と将来展望 2025 年

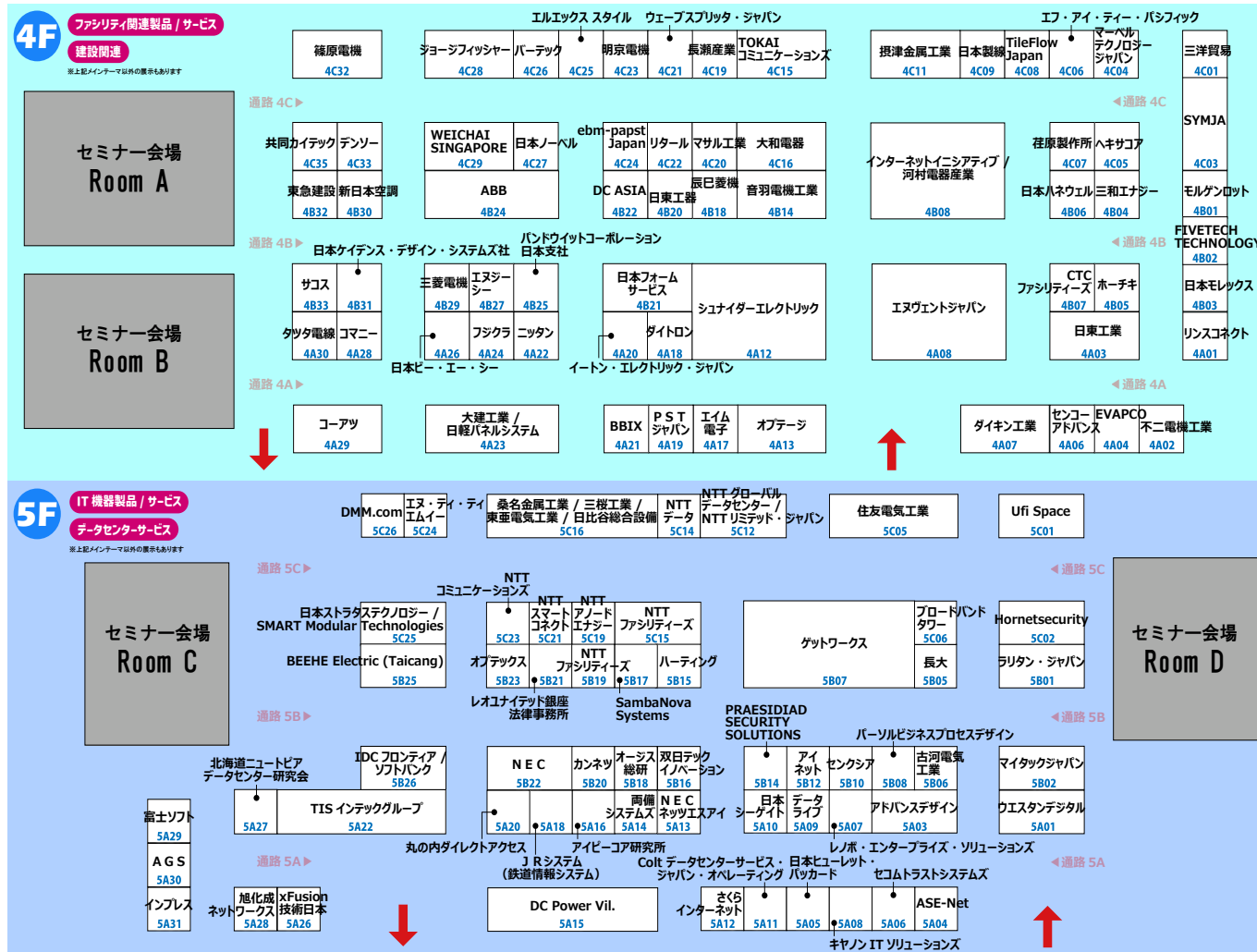


(株)富士キメラ総研
担当課長
羽賀 史人氏

⑧データセンター投資に関する法的実務



森・濱田松本法律事務所 外国法共同事業
弁護士 パートナー
蓮本 哲氏



ニッタン

HP ; www.nittan.com/

1954年に創業したニッタンは「お客様の大切な生命・財産を火災からお守りする」という理念のもと、社会に欠かすことができない防災設備・システムの提供に力を注いできた。室内の天井にある感知器やスプリンクラーなど、建物の火災を防ぐ製品を主体に開発・製造している。

本展では、超高感度煙センサ「NEM-912」並びにSerio シリーズ火災報知器・受信機などを展示紹介した。

超高感度煙センサ（スタンダードアローン型）NEM-912

一般居室に比べ数倍から数百倍の空調換気を行うクリーンルームやサーバールームなどでは、居室内で発生した煙は拡散希釈されるため、循環する空気を常時吸引して、微量な煙の粒子を早期に検知するアクティブな煙検知システムです。センサと監視盤の一体化を実現し、従来監視盤で行っていた機能をセンサ側で全て行えます。

微量な煙を早期発見：微量な煙の粒子でも検知します。設置環境にあわせ6段階の感度設定が可能です。

多彩な履歴機能:アラーム発生時の前後1時間分の煙濃度を記録する「アラームヒストリー」機能。作動履歴や異常発生日時、煙濃度、気流値を記録します。
※ 専用ツールが必要です。

高いメンテナンス性：内装機器をユニット構成とし、交換作業効率を向上しました。

豊富な外部移信出力：アラーム代表信号、異常代表信号を各2点装備。異なる出力先に移報信号を出力可能です。



Serio シリーズP型
1級受信機は、P型のコンセプトである「わかりやすい」「シンプル」をベースに、オフィスビル、ホテル、病院などの建物に柔軟に対応する火災報知システム。

日本フォームサービス

HP : www.forvice.co.jp

セキュリティ・ケージ

ケージとは、データセンター内のサーバールームのなかを仕切る金網のことであるが、データセンター内において、高まるセキュリティへの要望に対応したのが「セキュリティ・ケージ」である。

セキュリティケージを設置する事によりユーザーごとのエリアを完全に分離し、外部からの衝撃や侵入を防ぐ事ができ、ユーザのICT 機器の物理セキュリティ強化が行える。

ガラリとは、ドアや窓、壁に取り付ける換気口で、幅の狭い羽根板をブラインド



状に平行に連続して取り付けられたもの。視線を遮り、通風を確保するため、洗面所や浴室、クロゼットの扉などに用いられることが多い。



サーバーラック

FORVICE 製19 インチラックのスタンダードに
高開口率のパンチング採用、排熱が効率よく行える



静荷重
890kg

RoHS
指令準拠

EIA-JIS
規格準拠

FSR-SHシリーズ

標準仕様

前面	パンチング窓付扉
側面	窓なし・内ねじ
背面	パンチング窓付扉
天板	窓なし
マウントアングル	EIA規格 角穴
接地端子	2-M8 グリーンボルト付き
	扉数×2本

外形寸法(単位) mm※

幅	600/700
高さ	700/1000/1500/1800/2000/2200
奥行き	600/700/800/900/1000



開口率 84.3%の扉

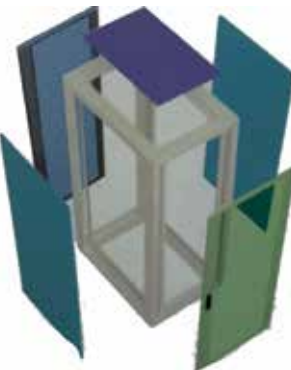
セキュリティ性や強度を保ちつつ、
84.3%と高い開口率を実現している。

※ パンチング窓の場合



簡易着脱で強度なヒンジ

新型扉は抜き差しヒンジを採用し、強度を保持しつつ簡易着脱を可能にした。



自在なカスタマイズが可能

使用環境に合わせたサイズにてラックを制作。
希望のパーツを組み合わせて作ります。

ユーザーごとのエリアを完全に分割

データセンター内において高まるセキュリティへの要望に対応したのが「セキュリティ・ケージ」です。

ユーザーごとのエリアを完全に分割し、外部からの衝撃や侵入を物理的に防ぐのは勿論、パーティションに比べて通気性が良く、空調の追加工事等も必要ありません。

網目は50角にし、手や工具の侵入を防ぐ間隔を保ちます。別途菱形の網目構造も可能です。

扉(引き戸)

引き戸(開口1200mm)、
ハンドルを標準装備。
※ご要望に応じ、扉仕様の変更も
別途承ります。



網目構造

網目は50角にし、手や工具の侵入を防ぐ間隔を保ちます。別途菱形の網目構造も可能です。



引き戸用鍵

鍵は、ステンレス板4枚合わせの鍵を持つ堅牢な引戸錠です。特別仕様として、メカニカル構造のキーレス錠もご用意しております。



標準仕様

アイルコンテインメントシステム

ラックを囲い、吸気・排気の流れを効率よく循環させます。



排気によって起こる熱問題を解決

ラックを囲うことで、サーバーへの吸気(冷氣)と排気(暖気)の流れを効率よく循環させます。排気した暖気が前面に回り込んでサーバーに影響を与えてしまう熱問題を解決し、安定したシステム運用をサポートします。

シーン別設置イメージ

データセンターの空調運用種類(床下や天井吹き下ろし)に併せて、最適な設備をご提案。

